

危険個所の放射線量調査を！



井之川博幸市議

井之川博幸市議が市に要求

いま開催されている沼田市議会9月定例会で、市長や教育長に対し井之川博幸市議は、「県が学校などの空間放射線量の調査を実施するとともに、市は公共施設7カ所や都市公園の5カ所の調査をやっているが、いずれも各施設1カ所の調査しかしていない。各地の経験によれば、雨水の集まる場所などの「側溝」や芝地・植え込みなどで高い放射線量が検出されています。太田市や伊勢崎市では市教委が学校などの放射線量を調査し、太田市内の中学校の側溝升では2.8マイクロシーベルトを超える数値が出て、除染措置をとっている。沼田市でも、側溝や芝地・植え込みなどの放射線量を測定すべきだ」と要求しました。

教育長は、「文科省の指示文書を参考にして検討していく」と、測定するかしないかハッキリ答えませんでした。

太田市の中学校で2.895を検出

上毛新聞等で報道されているとおり、太田市の小中学校7校の側溝などで毎時1マイクロシーベルト以上を検出し、最高は生品中の側溝升で毎時2.895マイクロシーベルトでした。太田市教委は汚泥を撤去するなど除染措置をとっています。

校庭中央では沼田は太田の2倍！

群馬県が5月下旬から6月上旬にかけて県内の各小中学校などの空間放射線量を調査しましたが、太田市内での地表での最高値は0.147でした。一方沼田市では池田中の0.362が最高で、北小でも0.295を検出しています。側溝升で2.895を検出した太田生品中は0.107でした。校庭中央だけでなく、側溝などの放射線量調査はどうしても必要です。

利根沼田は放射線が高いホットスポット 認識するよう放射能地図参考に要求

井之川博幸市議は、早川由紀夫群大教授が作成し、公開している「放射能地図」を参考に、福島第一原発から200km離れた利根沼田地域が、原発事故発生時の気象状況から、福島県の白河市やいわき市などと同じくらいの空間放射線量が検出されている「ホットスポット」になっていることを認識し、必要な対策をとるよう、星野市長に要求しました。また、早期に原発を撤退させるような取り組みを実施するようにも要求しました。

北部が第1位 市民体育大会

第41回沼田市民体育大会は、16種の競技を市内各施設で行ない沼田北部地区が第1位となりました。第2位は同点で東部地区、第3位は薄根地区でした。体育大会の得点は、10月9日に開催される「市民大運動会」の得点と合算され、今年の総合順位が決まります。



北小学校5・6年の騎馬戦

がんばれ！
がんばれ！

小学校で秋季運動会

10日、市内各小学校で秋季運動会が開催されました。沼田北小学校では、第33回秋季大運動会が行なわれ、真っ青に晴れた好天の下、各競技に子どもたちの熱戦が展開されました。来賓の学区内市議のあいさつでは、井之川博幸市議が4市議を代表して行ないました。

2011年9月18日	No.576
いのさんニュース	
発行所沼田市下久屋町983	☎23-1519
井之川博幸議員活動地域版部内資料	